



全力疾走!

平成 29 年 3 月 15 日発行 VOL.21 発行者 宮城県議会議員 庄田圭佑

一般質問で村井知事・執行部に積極提言!!

こんにちは。宮城県議会議員の庄田圭佑（しょうだけいすけ）です。2月17日から3月16日の日程で、第359回定例会が開催され、2月28日には4回目となる一般質問をさせていただきました。

今回の一般質問では、東日本大震災で失われた被災沿岸部の水産加工業の販路拡大や、県内企業の海外進出拡大、交流人口拡大に向けたインバウンド拡大、民営化された仙台国際空港の活性化策、また、がん患者のQOLを劇的に向上させ、なおかつ医療費適正化にもつながる、第五世代量子線がん治療装置導入に向けて等、県執行部に対して積極的な提言と質問をさせていただきました。

さて、簡単ですが、各質問の要旨についてご報告致します。まず「海外販路拡大と県内企業海外進出拡大に向けて」については、ベトナム調査から、現地法人に出資している埼玉県の事例も参考にしながら、より一層ベトナムでの販売支援強化と東南アジア

全域をターゲットにすべきではないか、山形県と共同で海外販路を開拓してはどうか。といった提言を致しました。「ベトナムをしっかりと攻略すること、東南アジア諸国での事業展開を見据えジェットロ等を通じて市場調査を実施予定であること、山形県との連携も段階的に拡充していきたい」との答弁でした。

また「インバウンド誘客拡大と仙台空港周辺活性化に向けて」では、空港内の保安検査場強化、インバウンド増にはアウトバウンド増も重要なことから、高校の海外修学旅行校を対象に財政支援制度を導入すべき。といった提言を致しました。空港保安検査場については、仙台国際空港でも最重要課題として認識しており「全力を尽くして対応したい」という答弁でしたが、海外修学旅行への支援については、「子どもたちが積極的に海外に目を向けるきっかけづくりに努めてまいります」との答弁に留まりました。

最後の「第5世代量子線がん治療装置導入に向けて」は、従来の重粒子線がん治療装置の機能進化と、大幅に小型化かつ建設コスト大幅に圧縮させ、10年後の実用化を目指している放射線治療装置「量子メス」を他県に先駆け導入すべき。という提言を致しました。特に、がん患者の術中・術後のQOLを劇的に向上させることや、外科的療法よりも医療費が少なく済むことから提言を致しましたが、「県立がんセンター及び東北大学病院などの専門家の意見を伺いつつ開発動向を注視したい」という答弁でした。

第359回定例会一般質問の内容

- 1 海外販路拡大と県内企業海外進出拡大に向けて
- 2 インバウンド誘客拡大と仙台空港周辺活性化に向けて
- 3 第5世代量子線がん治療装置導入に向けて

引き続き、県政課題解決と宮城発展に向けて全力疾走してまいりますので、皆様から忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

宮城県議会議員 庄田圭佑

1月22日～27日議会派遣ベトナム調査報告



1月に議会派遣でベトナム調査に行っていました。ジェトロとの意見交換（写真左下）では、人口約940万人、国民平均年齢は約30歳と若く、経済成長率6%前後、富裕者・中間所得者層も増加し、非常に勢いがありビジネス環境は日本以上に目まぐるしく変化する為、スピード感を持った取り組みが必要である事を感じました。

左の大きい写真はタイビン省トップのグエン・ホン・ジエン人民委員会委員長と宮城県と自治体交流を視野に入れた意見交換時の様子。また、イオンモールロンビエン（写真右縦3枚）では他県がベトナムで取り組んでいる事例調査とベトナム人の消費動向について意見交換致しました。他にも、ニッコーホテルハノイ（写真下中）では、現地日系企業の商工会部会長を務める総支配人と日系企業の進出状況、事業環境、ベトナム人の嗜好等ナマの話を伺いました。他にも、多くの現場を調査いたしましたが、これらの知見を今後の県政発展に役立ててまいります。

初めて街頭やりました！！



2月17日の朝に黒松駅で街頭を行いました。街頭が初めてだったことや朝が寒かったことが重なり、始めはうまく配ることが出来ませんでした。しかし、時間がたつにつれて声も大きくなり、次第に受け取ってくれる人も多くなりました。今後も街頭を行う機会が多いので、たくさん配りたいと思います。泉中央駅、八乙女駅、黒松駅で配っているので、皆様ぜひ受け取ってください。

インターン生代表；平間大地

そうじゃ吉備路マラソンに参加！！

2月26日には、スポーツによる自治体交流をテーマに、仙台国際ハーフマラソンと姉妹大会の岡山県総社市で開催された「2017そうじゃ吉備路マラソン」に参加致しました。同大会は総社市の歴史的建造物付近を走るなど、コース随所に工夫が凝らされており、参加者が2万人を超え、全国6位の規模の大会にまで成長しました。引き続き、交流人口拡大に資するスポーツを通じた自治体間交流について、取り組んでまいります。



東日本大震災から6年

震災から丸6年を迎えましたが、いまだに宮城県では1232名の方が行方不明になっており、応急仮設住宅にも20,970名が入居し、3,256名の県外避難者がいらっしやいます。着実に復興は進んでおりますが、一層スピードを速められるよう、創造的復興に向け、改めて議会挙げてしっかりと取り組んでまいります。

県政へ一言！！～皆様からのご意見をお待ちしております！～ FAX 050-3737-4421

お名前

お電話

住所

県議会議員 庄田圭佑プロフィール

- 1984年（昭和59年）2月2日仙台生まれ泉区育ち。
 - 明泉幼稚園、南中山小・中を経て、泉館山高等学校、宮城大学事業構想学部事業計画学科卒業。卒業後、(株)サンケイビル(フジ・メディアHD傘下)に入社し、都市開発事業に従事。その後、衆議院議員秋葉賢也秘書を務め、2015年10月宮城県議会議員に初当選。自由民主党・県民会議に所属。現在、保健福祉委員、総合観光調査特別委員。
 - 先祖が白虎隊だった縁で「みやぎ会津会」所属 ●趣味:ジョギング、スポーツ観戦、旅行 ●特技:和太鼓、乗馬
- 庄田圭佑事務所 〒981-3213 仙台市泉区南中山2-2-5 TEL022-342-1041 FAX 050-3737-4421